

# つながる すみだ人

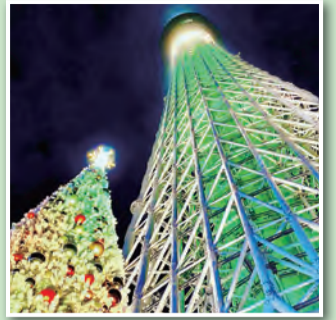
## 私の好きな すみだ

今月の1枚

「mom&me」

【撮影】水谷千鶴さん

本コーナーへの写真を随時募集しています。詳細は区ホームページをご覧ください。  
【問合せ】広報広聴担当 ☎5608-6223



今井 達さん(東向島在住)

すみだを愛し、すみだで活躍する人をリレー形式で紹介する「つながる すみだ人」。お話を伺った方に次の方を紹介していただき、すみだを愛する人でつないでいきます。第49回は、千年以上の歴史がある「白鬚神社」(東向島3-5-2)で明治時代初期から神社の祭祀を司る宮司の5代目、今井 達さんです。

### Q. すみだでどのような活動をしていますか？

白鬚神社の宮司になってから、20年が過ぎました。琵琶湖のほとりにあり猿田彦命を祀る白鬚神社から分霊をいただき創祀したことが白鬚神社の始まりで、西暦951年に創建されたと言われています。神社が参拝者で特に賑わうのは、正月の隅田川七福神巡りと6月に行う例大祭のときです。参拝者から「楽しみにしていたよ」などと声を掛けられると、やはり嬉しいですね。

元日～7日に区内6寺社を巡る隅田川七福神巡りは、都内最古の七福神巡りの1つなんですよ。

夏～秋にかけて、境内では「寺島なす」という江戸野菜を育てています。宅地化による畑の減少によって栽培が途絶えていましたが、第一寺島小学校が130周年を迎えた際に、地域ぐるみで栽培を再開しました。境内には、JA東京によって寺島なすの由緒説明板も設けられています。

### Q. 現在の活動を始めたきっかけは何ですか？

江戸時代以前は「寺が神社を管理する」という考え方があり、神社に神職が常駐せず、都立墨田川高等学校の近くにある蓮花寺が、白鬚神社を管理していました。神職が常駐するようになったのは明治時代に入ってからで、私の先祖が武士から転身して、白鬚神社を管理する神職になりました。それ以降、今井家が代々白鬚神社の宮司を務めています。宮司の息子として生まれた私は、「いつか継ぐんだろうな」と幼心に思いながら育ちました。だからこそ、全く違う世界も見たかったので、大学院までは

興味のある物理を学んでいました。神職になるための学校に通い始めたのは、そのあとです。全国にある神社の出来事を伝える新聞の編集部で20年ほど務めた後、父の跡を継ぎ宮司になりました。

白鬚神社は、今井家のものではなく、あくまでもお預かりしている立場です。お預かりしているものを大切にしていくこと、つまり受け継いだものを保ち、さらに良くして次代に伝えていくことが、宮司としての1つの目標でもあり、それがまた、与えられた仕事だと思っています。

▶隅田川七福神詣では、各寺社が七福神をかたどった御分体を頒布します。それらを宝舟に乗せ、家の中心に向けて飾ることで福を呼び込むとされています。



◀実は、白鬚神社が育成母体となってボーイスカウトの活動を行っています。戦前に曾祖父が始め、戦後に再編成しました。様々な活動を通じた子どもたちの成長は、見ていて嬉しいものです。

### 次回登場して下さるのは・・・

今井さんの従兄弟にあたり、向島百花園の創設者である佐原鞠場の子孫で、園内にある「茶亭さはら」を営む佐原滋元さんです。  
【問合せ】広報広聴担当 ☎5608-6223



# 夢

## 今年1年を振り返る

墨田区長

山本 亨

今年も様々な形で新型コロナウイルス感染症の影響を受けた1年となりました。感染が急拡大した「第7波」により、「隅田川花火大会」は中止となりましたが、夏をピークに新規感染者数は減少し、10月には「すみだまつり・こどもまつり」が3年ぶりに開催されるなど、すみだのまちも本来の賑わいを取り戻しつつあります。また、長引くロシア・ウクライナ情勢や、それに起因する原油・原材料価格の高騰に加えて、円安の進行に伴う物価高騰等の影響を踏まえ、区ではコロナ禍における「原油価格・物価高騰等総合緊急対策」政策パッケージを作成し、区民生活を守る取組や事業者への支援を行っています。

一方で、今年には本区の最上位計画である「墨田区基本計画」の中間改定や、公益財団法人日本相撲協会との包括連携協定の締結等、新しいすみだの始動に向けた取組にも着手しました。改定後の基本計画では、区民・事業者の皆さんとの協働により、「すみだの“夢”実現プロジェクト」を中心に、SDGs未来都市につながる持続可能なまちづくりを進め、「暮らし続けたいまち・働き続けたいまち・訪れたいまち」の実現をめざしていきます。

これから寒さが厳しくなるにつれ、新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザの同時流行への備えが重要となります。ワクチンによる予防など、引き続き、区民の皆さん

の安全・安心を第一に、社会経済活動の活性化と感染症対策が両立する「すみだらしい新しい日常」の定着に向けて、「オールすみだ」で取り組んでいきたいと思っております。年末に向けて体調管理には気を付けて、どうぞ良い年をお迎えください。



「AFCフットサルアジアカップ2022」で優勝したフットサル日本代表でフウガドールすみだに所属する清水和也選手と